



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 106 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail / honokuni@honokuni.org
http://www.honokuni.org/

会のホームページを20年ぶりにリニューアルしました。これまで手作り感のあるイメージとは対照的な躍動感のある構成になっています。フェイスブックページの最新情報は、トップページに組み込まれ、クリックなしで見られるようになっています。

また、20周年記念誌や動画「20年の歩み」も掲載され内容も盛りだくさんになっています。アドレスは以前のとおりですが、「穂の国森づくりの会」で検索いただければすぐにアクセスできます。

ぜひ、ご意見やご感想などお寄せいただければ幸いです。

(もりみの)

生物多様性保全の取り組みについて

本紙Vol.75(平成22年度)以来、当会の生物多様性の保全に向けた取り組みについて取り上げる機会がありませんでしたが、その後も様々な事業の中で生物多様性の保全に取り組んでいます。

まずは、主に親子を対象に東三河地域の豊かな生態系を伝える自然観察会(バスツアー)を平成22年~25年まで愛知県から受託し企画運営しました。

平成26年度からは、愛知県が推進している「東三河生態系ネットワーク協議会」と「新城設楽生態系ネットワーク協議会」に参画し、活動をしています。

「東三河生態系ネットワーク協議会」では、毎年開催される東三河生態系ネットワークフォーラムで、当会の生物多様性の保全の取り組みをパネル展示しています。また、平成27年度の同フォーラムでは、活動発表も行いました。

「新城設楽生態系ネットワーク協議会」では、愛知大学地域貢献グループ「森の子」が作成した「奥三河自然観察マップ」(平成26年度版、平成29年度版)の取材先の案内やマップの編集、助言などを行いました。

既存の事業の中でも生物多様性の保全に配慮した活動を行っています。例えば「穂の国みんなの森活動」は、隣接する「段戸裏谷原生林」をモデルとした落葉広葉樹林の再生を平成13年度の植樹の段階から行っています。植樹後から林内の樹木の生育調査を毎年継続しています。

「穂の国石巻の森活動」も平成24年度に潜在自然植生図に基づいて、常緑広葉樹を植樹し、自生する実生苗や萌芽した幼樹も残しながら、森づくりを行っています。この森も毎年、樹木の生育調査を行っています。

ウッドパーク平尾は、雑木林の再生を周辺に自生する



▲ 奥三河自然観察マップ(平成29年度版)



▲ ウッドパーク平尾で捕虫したタカネトンボ

落葉広葉樹を参考にして植樹、管理を行っています。また、樹木だけではなく里地に多く生息するトンボの調査も行っています。今のところ絶滅危惧種に指定されるようなトンボは見つかっていませんが、四季を通じていろいろなトンボを観察することができます。なお、捕虫できたトンボの一部はフェイスブックページで紹介しています。今後も様々な昆虫や鳥類が観察できる雑木林を目指しています。

他にも三河生物同好会さんと共催の自然観察会などにおいても森林の多面的機能の一つである生物多様性の保全を考えながら活動しています。(もりみの)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その15
「阿寺の七滝」
中西 正

あてら 阿寺の七滝自然観察会 2009.11.21

阿寺の七滝には東海自然歩道が通っている。この自然歩道は、大野から西では鳳来寺山を経由して田口まで歩いたことがある。特に鳳来寺山から田口までは、途中一泊しての歩きだった。

今まで、阿寺の七滝に行くときは七滝口まで車で行って、そこから歩くというパターンだった。しかし、今回は東海自然歩道を使って入った。大野から東の部分で、睦平から自然歩道に入り、鉛山峠を越して七滝まで行った。滝の周辺を観察した後、七滝口まで引き返しバスに乗る、というのが今回のコースだった。今回の講師は加藤等次先生だった。

阿寺川沿いの遊歩道は、沢と崖に挟まれた道で、崖は礫岩できている。沢の山側は多くがスギーヒノキの植林だがところどころにコナラ林があり、ツクバネ



▲ 阿寺川

ガシヤイヌシデ、ヤマザクラなどが生えている。また、沢沿いにはホウノキ、ネムノキ、ミズキ、ケヤキ等が生えている。崖側ではその下にはタマアジサイやイノモトソウ、ムラサキシキブなどがある。夏ならタマアジサイが茂ってきれいな花を咲かせていることだろう。崖には着生植物が着き、ゲジゲジシダやチャセンシダ、コウヤコケシノブなどがみられる。場所によってはイワタバコが多くついている。これも夏には涼しげな花をつけていることだろう。



▲ 阿寺の七滝

これらも夏には涼しげな花をつけていることだろう。

滝の周囲は薄暗くなっている。その印象の多くはスギーヒノキ植林によるが、一部にモミ、ツガの群落があり、これからの印象も加わっていると思われる。その群落中には、モミ、ツガの大木がありツクバネガシが混じっている。林床は暗

いが、ヒサカキ、ヤブツバキ、ウラジロガシなどの木本とかキジノオシダ、サンショウソウ、ベニシダなどの草本が多く見られる。この地は基本的には温暖地と考えられるが、このようなモミ、ツガの群落があるということから多少冷涼であるかもしれない。

今回の観察会の直前に大きな台風があり、東三河は広く被害を受け、この阿寺周辺でも多くの木が倒れていた。スギ林では木が折れるというより、根元から倒れていた。倒木が見られたのは全山ということではなく、局所的だったから風の通り道があったのだろう。尾根より谷に、そのような場所があり、被害を受けた木には細いものが多いようだった。二次林の広葉樹も倒れていたが、つるが絡まったものに多く見られた。つるによって風圧を強く受け耐えられない状況になって倒れたようだった。印象に残ったのは、岩に着いていた木が剥げ落ちていた姿だった。長い年月で岩の周りに張りめぐらした根も、木の本体を維持できなかったものと思われ、大きくベロツとはがれていた。倒木が道をふさいだ場所もあり、歩きづらいこともあった。



▲ 台風による阿寺周辺の被害



会員さんの森づくり探訪

シリーズPart18

積水ナノコートテクノロジー株式会社さん

積水ナノコートテクノロジー(株)さん(本社:蒲郡市)は、布の染色事業から出発し、現在も布をミクロン単位で起毛させる技術はトップクラスを誇っています。

さらに、繊維への金属スパッタリング技術(masaナノ金属コーティング技術)を世界で初めて開発し事業化に成功。この技術は、遮熱、保温、UVカット、抗菌防臭などを可能にし、高級カーテンなどのインテリア、日傘などの健康美容品、スポーツ・アウトドアウェア、自動車の内装などに使われています。また、この技術をフィルムにも応用して、タッチパネル液晶ディスプレイなどの電子情報材料になる機能性フィルムや家電のフィルタなど様々な分野で商品化されています。

さて、積水ナノコートテクノロジー(株)さんの森づくりは、平成28年度の三河湾漁民の森づくり(穂の国みんなの森での活動)への参加から始まりました。その後も毎年参加いただいていたのですが、今年度からウッドパーク平尾(豊川市)に活動の場を移し、移動時間が短くなった分を作業時間に当て、より積極的に森づくりに取り組んでいただくことになりました。今年度は10月16日に植樹した場所の下刈り作業に汗を流していただきました。来年度以降は、未整備地の除伐や下刈り、植樹作業に取り組んでいただく予定です。(もりみの)



▲ 穂の国みんなの森での森林教室の様子



▲ ウッドパーク平尾での下刈り作業の様子

積水ナノコートテクノロジー(株)ホームページ
<http://sekisuintc.co.jp/>

『ウッドパーク平尾』秋の里山づくり育樹祭を開催しました!

7月27日に開催を予定していた『ウッドパーク平尾』秋の里山づくり育樹祭が雨天中止となり、急きょ9月29日に順延しての開催でした。

作業は、今年1月に植樹したエリアの下刈り。ピンクやオレンジ色などのテープを巻いた苗木を探しながら慎重に草を刈っていきました。草を刈った後をざっくりみると、植樹した苗木の約7割が根付いたようです。

残暑が厳しく、参加の皆さんの体調を考慮し、作業は午前中で終了。植樹エリアの半分が終了しました。

(なお、残りの半分は、上記の記事で紹介したように積水ナノコートテクノロジー(株)さんに刈っていただき無事に終わることができました…)

来年度も育樹祭を開催予定です。



▲ 育樹祭(下刈り)の様子

三河湾漁民の森づくり活動を開催しました!(10月1日)

昨年度は、台風の影響で中止になった三河湾漁民の森活動。今年は、無事に開催することができました。

毎年、蒲郡市内の漁業関係者の皆さんと三谷水産高校(蒲郡市)の生徒さんに参加いただいておりますが、これまで漁業関係者さんは「穂の国みんなの森」で、三谷高等学校の生徒さんは、段戸湖に隣接する「広葉樹転換林」で森林整備作業を行っていました。

今年度は、趣向を少し変え、「広葉樹転換林」で、漁業関係者さんと生徒さんが一緒になって、シロモジの除伐作業を行いました。最初はお互い遠慮して別々に作業をしている様子でしたが、作業終了前には一緒になって作業をし、交流を深めることができましたようです。



▲ 除伐作業の様子

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

2月1日(土)

はじめての森づくり 体験講座

場 所：愛知県民の森（新城市）
集 合：午前10時にモリトピア愛知玄関前
（愛知県民の森内）
解 散：午後3時にモリトピア愛知玄関前
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：20名（申込み順、ただし会員優先）
参加費：無料
内 容：除伐作業（細い低木を伐る作業です）
持ち物：軍手、昼食、飲料、敷物など
服装等：汚れてもよい服装
その他：小雨決行です。
（雨天の場合は雨具、長靴をご持参ください）
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を
事務局へご連絡下さい。
（1月21日(火)締め切り）

※本事業は（公財）豊川水源基金「水源林保全流域協働事業」の助成を受けています。

3月1日(日)

ウッドパーク平尾 春の里山づくり育樹祭

場 所：ウッドパーク平尾（豊川市平尾町）
（詳しい場所は、お申込み後にご案内致します）
集 合：午前10時にウッドパーク平尾（駐車場有り）
解 散：午後12時にウッドパーク平尾
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：20名（申込み順、ただし会員優先）
参加費：無料
内 容：ピオトープの整備
持ち物：軍手、飲料など
服装等：汚れてもよい服装
その他：小雨決行です。
（雨天の場合は雨具、長靴をご持参ください）
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を
事務局へご連絡下さい。
（2月18日(火)締め切り）

寄付をいただきました。

株式会社かんぽ生命様より 金100万円

（公社）日本フィヒランソロピー協会の2019年度寄付プログラムを通じて寄付をいただきました。
穂の国石巻の森、ウッドパーク平尾の整備に大切に活用させていただきます。

企業の森づくり応援します!!

穂の国森づくりの会では、森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくり
- 森林整備の作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した環境教室の企画
- 三河材を活用したイベントの企画
- 森林を活用した社員研修の企画
- 森林の素材を活用した販促グッズの企画 など

様々なご要望に応じて応援させていただきます。
簡単なお問い合わせでも結構です。
事務局までお気軽にお問い合わせください。

木の温もりを暮らしの中に

おかげ様で豊川の地で
60年を迎えます



木造軸組工法プレカット・住宅資材・住設機器・内装工事・土木資材

株式会社 ウッディシステム

代表取締役 石原 勝好

〒442-0889 愛知県豊川市南大通5-41-1 <http://www.woodsystem.co.jp>

TEL 0533-83-3011 FAX 0533-80-5320

Bio'c 株式会社 Bio'c

私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000円／団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org